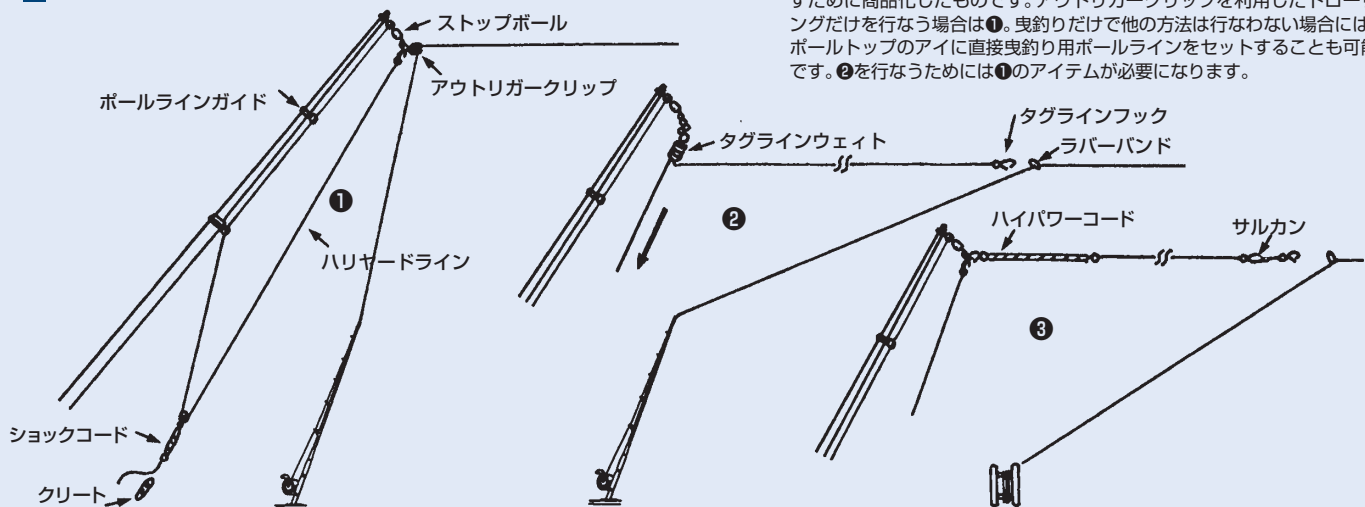


■アウトリガー・ハリヤードシステムの種類と使い方

このシステムは、アウトリガーを利用してさまざまな方法でルアーを流すために商品化したものです。アウトリガークリップを利用したトローリングだけを行なう場合は①。曳釣りだけで他の方法は行わない場合には、ポールトップのアイに直接曳釣り用ポールラインをセットすることも可能です。②を行なうためには①のアイテムが必要になります。



①ハリヤードラインセット

ロッド&リールを使用して行なうフィッシングに利用します。アウトリガーポールの先端にロッド&リールからのラインを導き、魚がヒットした時、アウトリガークリップからリール寄りのラインが外れ、魚とのファイトができるハリヤードシステムの基本となるアイテムです。

注) アウトリガー・クリップがローラータイプなので、ルアーを曳く時の長さを常に調整できます。ただし、ヒットするたびに、ハリヤード・ラインを下ろし、外れたラインをセットしなおすシステムです。

②タグラインキット

ロッド&リールを使用して行なうフィッシングに利用します。魚がヒットした時、ラバーバンドが切れ、リールからのラインが外れ、魚とのファイトができます。さらに、タグラインウェイトによって、ハリヤードラインを下ろさなくても、手元にタグラインフックが下がるシステムです。

注) ラバーバンド方式は、ゴムによりリールからのラインを固定してしまいます。このためルアーを曳く長さは、一度セットしてしまうと調整できません。

③曳釣り用ポールライン

ロッド&リールを使わず、素手で仕掛けをたぐり寄せるのが曳釣り。このシステムは、曳釣り中に魚が掛かった時、そのショックにより魚が外れないようにするため、ハイパワーコードによってショックを吸収して、素手で魚を取り込むシステムです。

注) ポールラインの全長は、魚がヒットし、たぐり寄せた時、船べり内側のデッキまで届く長さに調整することによって、スムーズな取り込みを可能にします。

■ハリヤード・システムの各アクセサリーの活用法



ザ・ハリヤードシステム

ロック・スナップ付クレンサルカンの利用により、アウトリガークリップ、タグライン、曳釣り用ポールラインの3タイプのアイテムが、簡単にワンタッチで入れ替えることができます。このことにより、いろいろな状況による漁具の選択が、船の上でスムーズに行なうことができます。さらに、長時間使用しない時などは、システムを保管しておけるので傷みません。



ゴムクッションとクリート

ゴムクッションをこの位置に使用するのは、アウトリガーポール竿先の動きに対して、ゴムの弾力によりハリヤードラインをしっかりと張ることが目的です。さらに流すルアーの抵抗により、ゴムの張りを微調整できるようにクリートを使用しています。ゴムクッションが無ければ、ポールの竿先が曲がるたびに、ハリヤードラインが緩み下がってしまいます。



ハリヤードライン・テクニック

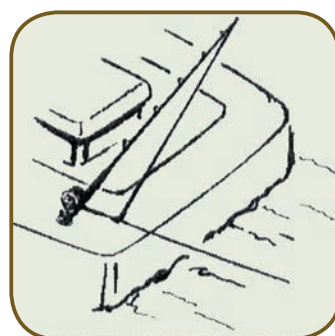
海が荒れていて、アウトリガーポールが異常に動いたり、曳釣り仕掛けのように、水の抵抗を多く受ける道具を曳いた場合、ゴムクッションやクリートを利用して調整してもラインは下がってしまいます。こんな時ハリヤードラインを手元でツイストしておく、ズルズルと下がってくるのを防ぐことができます。また、ゴムバンドで固定することも一つの方法です。



●ハイパワーコード

(曳釣り用)
両端金具付
(フタバサルカン 小)
(プランチハンガー 中)

コード径	全長
5mm	1m
5mm	1.5m
6mm	1m
6mm	1.5m



●AFTCO

フラットラインクリップ
ストレートラインでルアーを流す時にラインと水面の角度を小さくするために使用します。